

芝谷 康二 氏（オーハツ株式会社社長）

令和7年秋の黄綬褒章を受章

令和7年秋の褒章において、オーハツ株式会社社長の芝谷康二（しばたに・こうじ）氏が、消防関係の功績により黄綬褒章を受章されました。芝谷氏は永年にわたり消防関連機器の研究開発や製造販売、設備保守業務などに精励し、業界発展に寄与されてきました。その功績は多くの人々に安心をもたらし、地域社会の安全を支える大きな力となりました。また、内発協の政策審議委員としても、永きにわたり組織の発展に尽力され、会務の円滑な運営や後進の指導に大きな役割を果たされました。今回の受章は、芝谷氏の不斷の努力と高い志が公に認められたものであり、私たちにとっても大きな喜びです。当協会は、氏の栄誉を心より祝福するとともに、その功績を後世に伝え、今後の活動の励みとしてまいります。



芝谷 康二 氏

令和7年秋の叙勲・褒章

令和7年秋の叙勲、令和7年度文化勲章、令和7年秋の外国人叙勲、第45回危険業務従事者叙勲（令和7年11月発令）及び令和7年秋の褒章について、内閣府により令和7年11月3日付けで発令されました。そのうち、令和7年秋の褒章は、762名・団体が受章されました。そのうち、消防関係褒章受章者は107名でした。褒章別受章者数の内訳は以下のとおりです。

令和7年秋の褒章受章者

- ・紅綬褒章の受章者： 2名
（うち消防関係2名／災害現場で人命救助に尽力）
 - ・緑綬褒章の受章者： 37名
 - ・黄綬褒章の受章者：257名
（うち消防関係7名／消防機器の研究開発や設備保守に貢献）
 - ・紫綬褒章の受章者： 17名
 - ・藍綬褒章の受章者：449名
（うち消防関係98名／消防団員として長年活動し地域防災に寄与）
- 合計 762名・団体（うち消防関係は107名）が受章されました。



授与された章記

令和7年秋の消防関係褒章伝達式

令和7年秋の消防関係褒章伝達式は、令和7年11月19日（水）午前10時30分より、東京都千代田区霞が関・合同庁舎第二号館地下講堂にて、全国各地の消防団員や消防関係者の長年にわたる功績を讃える厳粛かつ盛大な式典として執り行われました。会場には受章者のほか関係者多数が参列し、消防・防災活動に尽力してきた歩みを称える温かな雰囲気に包

まれました。受章者が一人ひとり表彰状を授与される場面は、地域社会の安全を守る使命感と献身の象徴として、参列者の心に深い感銘を与えるものとなりました。

伝達式終了後には皇居にて拝謁式が行われ、受章者ならびに配偶者の方々が臨席し、晴れやかな緊張感の中で陛下からのお言葉を賜りました。その後の記念撮影では、受章者の誇らしい表情と、長年支え続けてきたご家族の温かなまなざしが一堂に収められ、式典の意義をさらに際立たせるひとときとなりました。



授与された褒章



芝谷氏の受賞を祝いオーハツ株式会社の皆様で記念撮影



伝達式にて祝辞を述べる林芳正 総務大臣（右手前：大沢博 消防庁長官、左から2人目：金森賢治 全国消防機器協会会長）